

# 高妻山 2353M

## ⑥ 7/30 (水) 晴れ後曇り四国の2名、新潟の1名と

5:55 キャンプ場～7:47 一不動 7:55～11:36 山頂 12:35～15:30 一不動 15:35～16:50 キャンプ場 17:10～19:05 自宅

四国の方が高妻山で日本100名山登頂達成との事で新潟のOさんから同行の誘いと宿を頼まれた。黒姫でペンション「風祭」を運営している山友人のY氏を宿にし、Y氏とも話したかったので私も参加する。当初は28日に登山予定であったが前日雨降りので29日に延期する。天気予報は晴れであった。ところが合流して登山始める頃から雨が降り出してきた。様子見しながら登るが帯岩近くになり雨足が強くなり引き返す事になる。この辺は本当に天気予報が難しい所だ。10時頃「風祭」に行き、風呂に入り温まり、「前祝い」をする。びしょ濡れの衣類などもストーブつけてもらい乾かす。Y氏には大変お世話になった。翌日早朝再チャレンジ。今日は天気が良い。3日目の正直である。こんな登山も珍しい。キャンプ場出発、昨日の雨で登山道も湿っぽい。一不動の避難小屋を過ぎてしばらくすると曇ってきてしまう。山頂からは展望なし。

一不動避難小屋



高妻山山頂



帰路は途中から新しく開設された「尾根道」を下山したかったが、同行者が嫌がったので諦める。私はネットで調べて情報は入手していたし、所要時間も短いし、往路で分岐点は分かっていたし、少し覗いてみたらしっかり駆け払いされていたので。往路登山口に常駐している「遭対協」の親父に私が聞いた時に「道が刈ってないので、遭難の危険があるので止めた方が良い」と言ったのが致命傷になったようだ。切り開いた人と何らかの軋轢があるようである。折角切り開いた道だし、短時間で歩けるし、「帯岩」のような人によっては嫌がる所を通らなくてもよいし。高妻山は100名山の日帰りの山では比較的長丁場の山で、足に自信の無い人達は一不動の避難小屋で1泊する。すると「トイレ」の問題が発生する。環境面からも「新道」を勧めるべきだ。今の登山道は沢歩きが長いので雨後の増水時も危険だし。ユックリ歩いたせいもあるが10時間を越す登山であった。

(注) Y氏の宿は都合により、昨年10月で営業を辞め、大阪へ戻りました。